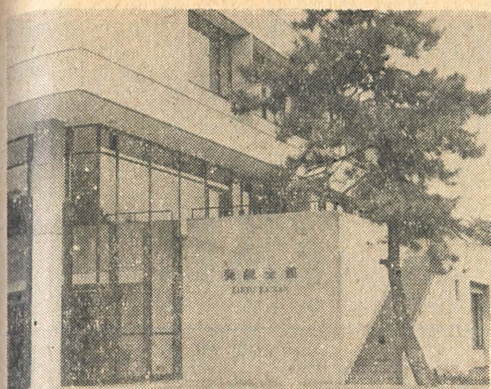


□ 大学近況 □

◇学長の国外出張 井汲学長は去る八月四日羽田を出発し、意見交流・研究などのため、スイス、フランスをはじめとする西欧諸国の経済学者を歴訪、約一カ月半の旅程を終え、九月十八日夕刻、帰国した。

◇「葵陵会館」と決定 竣工した学生会館共用棟の名称は、教職員・学生から広く募集した結果、「葵陵会館」(きりようかいかん)とよぶことに決定した。



葵 陵 会 館

なお、部室棟は「第一学生会館」と称し、旧来の部室棟は「第二学生会館」とよぶことになり、二つの学生会館が西門を入ると向かいあうことになった。管理運営については学生との合意をみたので、すでに使用開始にきている。

◇第二研究室棟着工 学生会館にひきつづき予定されていた「第二研究室棟」は、十番教室の南側斜面に地下二階、地上四階延面積約一七二八平方メートルで、去る八月に着工した。また、体育館の東側に建設予定の校舎は延面積約一五〇〇平方メートルで、昭和五十二年新学期完成をめざして、現在、基本設計を終わり、実施設計に入っている。

◇昭和五十一年度学生募集 ▲募集人員▼

	第一部	第二部
経済	五〇〇名	二五〇名
経営	五〇〇名	二五〇名
短大	一五〇名	八〇名

▲入試日・試験場▼

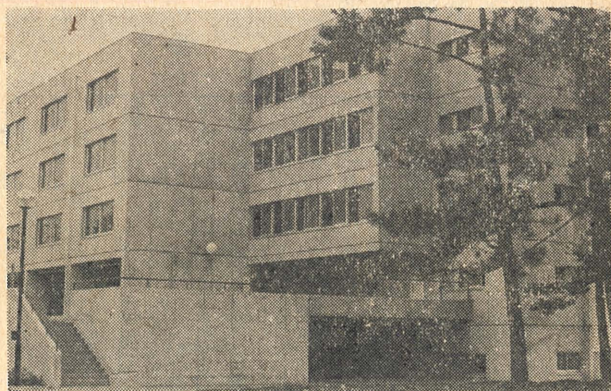
第一部経済・短大 二月十三日(金)

第一部経営 二月十四日(土)

第二部全学部 三月六日(土)

試験場はすべて本学

▲入試科目▼



第 一 学 生 会 館

第一部経済・経営

外国語 英語B

国語 現代国語・古典Ⅰ乙(漢文を除く)

社会・数学 政治・経済、日本史、世界史、地理B、商業簿記、数学(Ⅰ・ⅡB)から一科目

選択

盛大だった 葵陵会館完成祝



《法人・会社》
 申込件数 一〇件 (累計 二六〇件)
 申込金額 二一萬五〇〇〇円
 《教職員・その他一般》
 申込件数 二件 (累計九五件)
 申込金額 三万円
 (累計 四二六萬一〇〇〇円)
 《卒業生》
 申込件数 八五件 (累計 三五九五件)

申込金額 八七萬五〇〇〇円
 (累計 六二九二萬四八九四円)
 《在校生父兄》
 申込件数 四件 (累計 六三三件)
 申込金額 三万円
 (累計 一七九四萬四六〇〇円)
 《48・49年度新入生父兄》
 申込件数 一件 (累計 一〇二三件)
 申込金額 七万円
 (累計 三二九九萬二〇〇〇円)

申込総件数 五六〇六件
 申込総金額 二億一四二二萬二四九四円
 《訂正・追加》(お詫びします)
 前号(一二六号)掲載(四二ページ下段)
 (誤)金参拾万円 山本 徳助
 (正)金参拾万円(第3号)山本 徳助
 前号(一二六号)掲載(四二ページ下段)
 金四万円 三鷹市役所卒業生一同
 (追加) 小川 敏(昭34)

去る九月三十日(火) 新学生会館(葵陵会館) 完成を祝して、新学生会館において完成披露パーティーが開催された。

午後二時開催ということであったが、学内には学生会館完成を祝い、母校がどのように変わったかを、目のあたりに見ようとするOB、父兄が早めに、三々五々と集まってきた。

「りっぱなものですね、ありがたいことです。一生けん命に勉強してもらわな」と……と目を細めるのは、お孫さんが今年母校に入ったという七十歳代のおばあちゃん。

学生会館内は明るく、随所にロビーがあつて、学生たちの「憩い」の場所となっている。

「早く使用したいですね。これだけりっぱな学生会館をもてることを誇りにしています」と、学生会館使用を待つ経営三年の田中君。

葵友会員も山本会長、福島副会長始め披露パーティーに参加。堀江常務理事は「学生にはもったいないはどりっぱだ。今の学生は昔とちがってめぐまれていね。物を大事にする心を養なうてほしいですよ」と語る。

「なかなか国分寺まで行く機会がないので、こんな時に母校に行つてみたいと思つていたが、平日では僕ら仕事があるからねえ……」という葵友会員の声もちよっぴり。出席者約四百五十名(うちOB百二十名)

井上 浩 大木 忍(第2回)小口 六郎
 小野寺榮喜 田野倉正志 西村 正栄
 橋本 章 久松孝雄 松浦安之助(第2回)
 山崎 貞雄

以上、つくし会

金壹万円

杉田 良男(昭31・東京)

《法人・会社》

申込件数 五件(累計 二六七件)

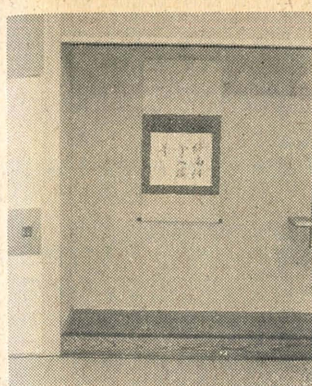
申込金額 四二万円

(累計九六六七万円)

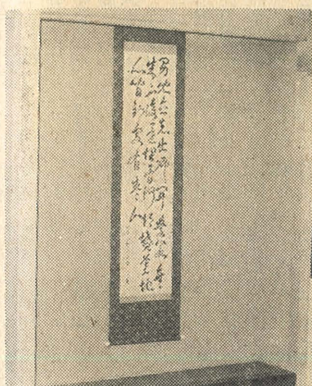
葵陵会館を飾る

卒業生の作品

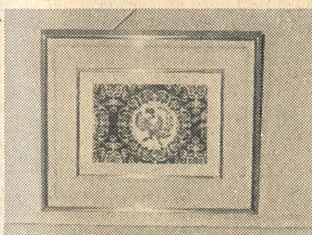
昨年完成した母校葵陵会館二階には、三つの和室があり、茶華道のおけいこや集会に使われているが、この和室には、卒業生三氏からおくられた貴重な作品がかざられ



① 木村岩五郎氏寄贈



② 荻原文吾氏寄贈



③ 高田義男氏寄贈

《教職員・その他一般》
 申込件数 二〇件(一一五件)
 申込金額 八六万円
 (累計 五一二万二〇〇〇円)
 《卒業生》
 申込件数 四〇〇件(累計 四〇二四件)
 申込金額 四九九万三三〇〇円
 (累計 六八三四万八三九四円)
 《在校生・父兄》
 申込件数 (累計 六三三件)

申込金額 (累計 一七九四万四六〇〇円)
 《48・49年度新入生・父兄》
 申込件数 (累計 一〇二四件)
 申込金額 (累計 三二〇一万二〇〇〇円)
 申込総件数 六〇六三件
 申込総金額 二億二一〇九万五九九四円
 《追加》(お詫びします)
 一二六号掲載(四二ページ中段)
 金四万円 日本放送協会卒業生
 (追加) 加治章(昭38)

その質など
 まったく現
 物そのもの
 のすばらし
 さをもって
 いる。この
 複製も、額
 に入れ、和
 室にかざら
 れてある。

大学近況

■昭和64年度大学院修士課程(Ⅰ)入試概要

1 募集人員 経済学研究科 10名

経営学研究科 10名

2 出願期間 昭和63年9月26日(月)～10月4日(火)

3 試験日

筆記 10月13日(木)
口述 10月14日(金)

4 合格発表 昭和63年10月17日(月)

5 入学手続 昭和64年3月8日(水)～13日(月)

※社会人入試

経営学研究科は社会人入試を行う。募集人員は5名程度。入試日は修士課程第Ⅱ期(2月)と同時に実施する。

※問合せ要項請求先 教務課(1号館2階)

■大学食堂今夏改造工事

懸案の大学食堂改造工事は基本設計がほぼ決まり7月22日夏休みに入ってすぐ着工することとなった。改造のポイントは(1)席数の増加(2)厨房設備を新しくし、適温出食、カフェテリア方式など。9月16日オープンをめざして行われる。

■昭和63年度市民大学講座内容決まる

全国の各大学市民大学講座は、ますます盛

んになりつつあるが、本学の国分寺市との共催市民大学講座も第7回をかぞえることになった。すでに延一、四〇〇名の受講生があったが多くの市民からはやく講座内容を知らせてほしいとの問合せがある。先日国分寺市との打合せをおえて、ようやく左記のとおり決まった。国分寺市民のほか、本学教職員並びにその家族、また卒業生のみなさんも申込んでいたければだれでも受講できるので、ぜひ機会をつくり参加をお待ち申しあげている。

9月24日(土)開講式・記念講演を皮切りに、12月10(土)閉講式まで、一般コース、シリーズコース、実務コース(ワープロ)にわかれて行われる。

◇開講式及び記念講演

9月24日(土)「都市づくりのあり方——東京・ロンドンの大火をめぐる——」柴田 徳衛 教授

一般コース

10月1日(土) 私達の身の回りの金融国際化 辰巳 憲一 教授

10月8日(土) 外国から見る日本 棚橋 啓世 教授

10月15日(土) 情報化社会の行くえ——日本・米国・欧州—— 増田 祐司 教授

10月22日(土) シェイクスピアの宇宙観——コレスポンドンスの思想—— 川井万里子助教授

10月29日(土) イタリア経済の光と影 堺 憲一助教授

11月12日(土) 税法の常識と非常識——離婚・相続・土地の税金から税制改革・不公平税制—— 関根 稔 講師

11月19日(土) 産業考古学——時計の歴史—— 内田 星美 教授

11月26日(土) 人間らしく働くとは何か 川辺平八郎 教授

12月3日(土) 歴史のなかのことは 阪下 圭八 教授

シリーズ・コース

Ⅰアメリカ文化論

10月1日(土) 現代アメリカの大衆文化(1)

10月8日(土) //

10月15日(土) 寺地 五一 講師

10月22日(土) //

10月29日(土) //

11月5日(土) //

11月12日(土) //

11月19日(土) //

11月26日(土) //

12月3日(土) //

12月10日(土) //

12月17日(土) //

12月24日(土) //

12月31日(土) //

1月7日(土) //

1月14日(土) //

1月21日(土) //

1月28日(土) //



● キャンパス カメラ レポート ●

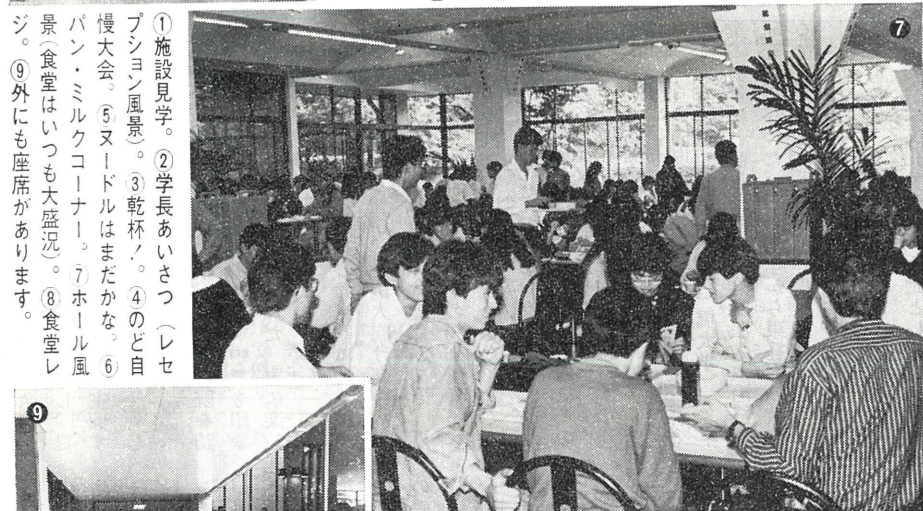
物を選んだ後にレジでまとめて精算する方法に変わった。また、厨房に新設備を導入することにより、厨房を小さくすることで、その分座席数を増した。これにより、昼休み常に混雑していた食堂も多少は混雑の緩和がなされると思われる。

これらの他には、A・Vシステム、展示コーナーの設置、ホールの一部を使ってパーティーが開けることになった。

また、食堂内全面終日禁煙となった。

新食堂を使ってみたが、内装もきれいになり、イスもカフエバーみたいな高いイスが置かれ、これが本場に東経大食堂かと思われる程変ってしまった。ただ一つ、喫煙者の私にとって、食堂が禁煙となり、食後の一服がすぐにできなくなってしまったのは少し残念である。

(カメラ・文 内田弘之)

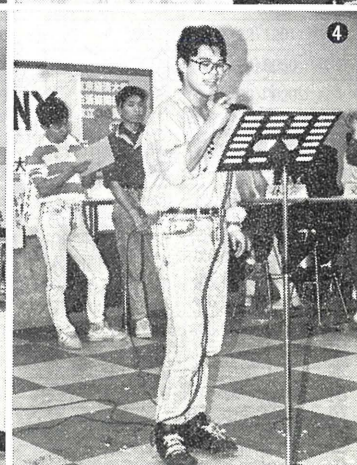


● 生協食堂 ●

東経大食堂が新しくOPEN！

東経大生協食堂は夏休みに改装工事を終え、9月16日から新たな食堂に生まれ変わった。また、それに伴い、10月1日には母校関係者を招待し、施設見学と記念レセプションを開き、その後は、学生を対象に新食堂での自慢大会が盛大に行なわれた。

従来の食堂では、食券を購入した後、食べたい物を受け取っていたが、新食堂ではカフエテリア方式といい、食べたい



①施設見学。②学長あいさつ(レセプション風景)。③乾杯。④のど自慢大会。⑤ヌードルはまだかな。⑥パン・ミルクコーナー。⑦ホール風景(食堂はいつも大盛況)。⑧食堂レジ。⑨外にも座席があります。

葵陵会館改修工事について



改修工事すむ葵陵会館

(写真は9月下旬の外観)

1、改修の目的について

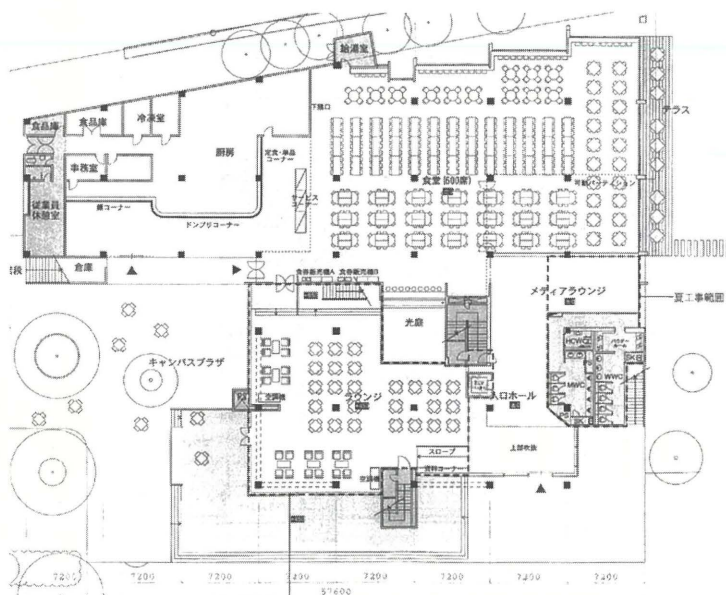
葵陵会館は一九七五年九月の竣工以来学生、教職員、校友等の「共用棟」として、学生食堂機能、集会室機能等を果たしてきました。建設三〇年を経て、第二部学生募集の停止、

学生の課外活動の変化、IT利用をはじめとする学習環境の変化、卒業生や市民との交流機会の増大など大環境や葵陵会館の利用をめぐる環境は大きく変貌しています。建築構造上、バリアフリーへの対応が遅れているといった課題も看過できません。

今回の改修計画立案にあたっては、学生、教職員等学内の意見をききとりながらすすめてきましたが、こうした課題の解決に向けて収容力、機能面等で可能ながぎり配慮することが求められています。

改修計画のうち1階のラ

ウンジ床改修、トイレ改修等の工事を第1期工事として、すでに夏休み中に終了しており、一月中旬より第2期工事として食堂、喫茶コーナー、小ホール等主要部分の改修にとりかかり、工事の完成は明年三月下旬を予定しています。



1 F 平面図

(図面は9月現在のもの。一部修正される予定である。)

2、改修工事の概要

① 1階

- ・食堂を拡大し座席数は現行四三〇席を二二〇席程度拡充する予定である。

② 2階

- ・段差の激しかった1階ラウンジを平坦化し機能性を向上させ、あわせてバリアフリー化を図る。
- ・女子ラウンジ、印刷室を撤去しメディア・ラウンジ（仮称）として機能させる。
- ・トイレ設備を更新する。

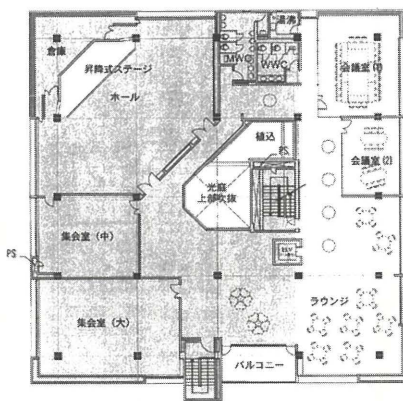
④ その他

- ・エレベータを設置し、必要な箇所にスロープをつけるなどバリアフリー化を図る。
- ・LAN配線の敷設等、IT化対応を図る。

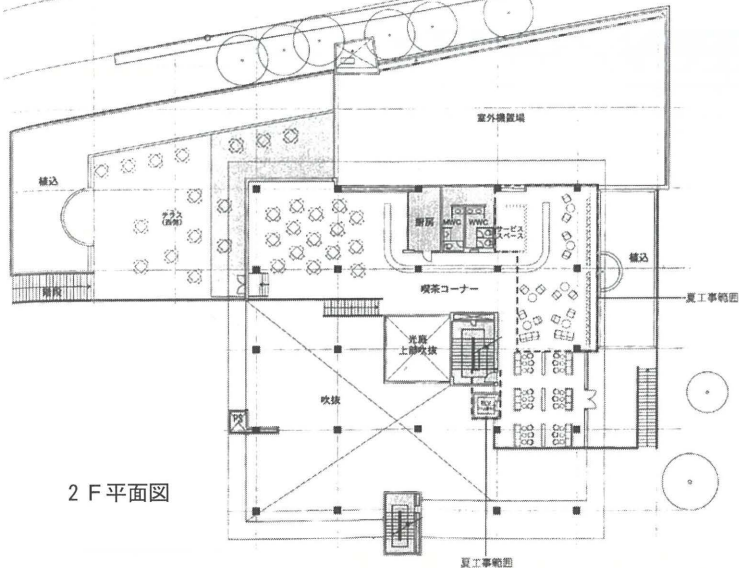
③ 3階

- ・小ホールについては防音強化を図る。
- ・集会室については、学生等の需要実態から現行の大1室、中1室、小5室から大1室、中1室、小1室へと再編を行い、ラウンジスペースを拡充する。小集会室需要の変化に対応するため学生会館内に音楽練習室兼集会室を4室新設する。

3 F 平面図



2 F 平面図



向き合う壁の鏡が合せ鏡に
(1F 女子パウダールーム)

以上

大学近況

【訃報】

阿部謹也学校法人東京経済大学理事死去
阿部謹也理事が、九月四日夜、急性心不全で亡くなりました。享年七十一歳。告別式は近親者でませんでした。お別れの会が十月二十九日に一橋大学兼松講堂で行われました。

ヨーロッパ中世の社会史研究の第一人者として、庶民の視点に立った歴史解説で既成の中世のイメージを一新しました。また、西洋と日本の差異にも着目し、「『世間』とは何か」など、日本文化論を展開しました。

主な著書には「ハーメルンの笛吹き男」（一九七四年）、「中世を旅する人びと」（一九八〇年、サントリール学芸賞）、「中世の窓から」（一九八〇年、大佛次郎賞）などがあります。

一橋大学元学長・同名誉教授、東京経済大学元教授。二〇〇五年六月から学校法人東京経済大学理事を務めていました。

■花房正義氏、理事就任

学校法人東京経済大学は、故阿部謹也氏の後任に、九月二十一日開催の理事会において、日立キャピタル株式会社取締役会長の花房正義氏を選任しました。

義氏を選任しました。
任期は、〇六年九月二十一日から〇八年五月三十一日までです。

花房正義氏は、一九九〇年六月から二期六年にわたって、理事を務めており、今回は二度目の就任となります。

同氏は、一九三四（昭和九）年十月生まれ。東京経済大学経済学部一九五七（昭和三十）年三月卒業、同年四月 日立家電販売株式会社入社。九一（平成三）年六月日立クレジック株式会社代表取締役社長、二〇〇〇（平成十二）年十月日立キャピタル株式会社代表取締役社長、〇一（平成十三）年六月代表取締役会長、〇三（平成十五）年六月取締役会長（現在に至る）、日立製作所取締役（現在に至る）、日立化成工業取締役（現在に至る）、〇四（平成十六）年六月東京ガス監査役（現在に至る）。

■市民大学講座開講

統一テーマ：「今、歴史と現在を見つめる」
九月十六日に開講した市民大学は十二月九日まで統一テーマのもとに十名の本学教員による十回の講義が行われます。

市民大学講座は全十回の講座（全十回で三千円）ですが、途中からの受講も可能です。

受講を希望される方は、本学ホームページか、メール、FAX等でお申し込みください。
第一回は、村上勝彦本学学長による「近代日本経済の野生的な担い手―東京経済大学創立者、大倉喜八郎の人となり―」というテーマで行われました。

■三大学体育会スポーツ交流大会開催

九月十七日・十八日大阪経済大学において三大学体育会スポーツ交流大会が開催され、剣道部が優勝しました。

第四回三大学体育会スポーツ交流大会の交流種目は「剣道」と「バドミントン」でした。本学の剣道部は優勝、バドミントン部は連戦の疲れもあり、惜しくも二位となりました。

同じく旧高等商業学校を前身とする大阪経済大学、松山大学、本学の三大学は、二〇〇三年から定期的にスポーツ交流大会を行っており、今年は九月十七日に懇親会を兼ねた合同開会式が大阪ガーデンパレスで、十八日にスポーツ交流大会が大阪経済大学で開催されました。

■葵陵会館改装

九月三十一日、葵陵会館の第一期改装工事が終了いたしました。

今回の改装により、一階のフロアが広々とした空間に生まれ変わりました。また、一階のトイレが男女ともすべてウォッシュレット付になり、特に女子トイレに就職活動の戦力となるようなパウダー・ルームが設置されるなどのリフォームが行われました。

■九月份卒業式・大学院秋入学式実施

九月三十日、六号館7階で九月份卒業式および大学院秋入学式が行われました。

卒業生は、学部が六十三名、大学院が修士三名の計六十六名です。また、大学院秋入学生は、修士課程四名（うちシニア一名、社会人一名）、博士課程一名の計五名です。

■喫煙マナー改善キャンペーン実施

国分寺市が「ポイ捨ての防止及び路上喫煙の規制に関する条例」を十月一日から施行するのを受け、本学でも十月二日から二週間にわたり「喫煙マナー改善キャンペーン」を実施しました。

市条例では、国分寺駅と西国分寺駅、および恋ヶ窪駅の三つの駅周辺が「禁煙地区」に指定され、国分寺駅からの本学正門に至る通学路の一部が「国分寺駅周辺禁煙地区」に含まれています。

これを機に本学は、「禁煙地区」にとどまらず通学路上においてもこれまで以上に、喫煙マナーの向上を図る取り組み「キャンペーン」を行いました。具体的には国分寺市の条例施行のPRポスターを掲示し、屋外に設けていた喫煙エリアを三分の一に減らすほか、十月二日から二週間にわたり、通学路と正門に学生（キャンパススタッフ）と職員を通学時間帯に合わせて配置し喫煙マナー改善を呼びかけました。

■公開教育講演会「二〇一一年の社会と大学選び」開催

たくさんの方々から資料請求をいただいている『大学の学びガイドブック』の作者である関沢英彦本学コミュニケーション学部教授による本学主催の公開教育講演会が十月七日に狭山市市民会館で開催されました。

■国際シンポジウム（日本出版学会共催）

「コミュニケーションとしての出版」

―変貌する東アジアの出版と文化―
本学が日本で初めて開設し、昨年十周年を迎えたコミュニケーション学部において、その開設と運営に携わった田村紀雄、故・香内三郎、猪狩誠也の各名誉教授、および専任教

員グループが関係する日本出版学会との共催により、出版に関する総合的な国際シンポジウムとして十月二十八日・二十九日に六号館大会議室で開催。

村上学長のあいさつのあと、今村仁司本学経済学部教授による「本を読むこと、生きること」というタイトルの基調講演によりシンポジウムは開始されました。

コミュニケーションとしての「出版」に関する学術的研究は、現在世界的規模で進められていますが、とりわけ東アジアにおいて長年研究と交流を行ってきた中国編輯学会、韓国出版学会、日本出版学会の研究成果を集約し、本学コミュニケーション学部の重要な部分を構成する「出版」に関して、国際的なシンポジウムを行うものです。これらの学会に関わる第一線の研究者、実務家が一堂に会することは極めて稀であり、意義あることと考えられます。

■日商簿記一級

六月に実施された日商簿記一級試験で在学生五名が合格しました。このうち、吉岡博和君（経営四年）は、先に、全経上級にも合格しています。



寮内の食堂風景（昭和30年頃）

ここに昭和五十六年（一九八一年）の生協食堂の値上げ表がある。Aランチは二〇〇円で据え置いているが、Bランチは二〇円上げの

むことが生協食堂の生命線だ。値ごろの維持は中々の難題。安値を維持するために、質を落とすわけにいかない。実際、低価格をおびやかすコストアップ要因は今日も事欠かない。原材料費、光熱費、人件費等、難敵がそろっている。

さらに十年前の昭和四十五年（一九七〇年）の値上げは、八〇円の定食が廃止され、一〇〇円のB定食、一二〇円のC定食は据え

置き、新たに一五〇円のCOOP定食、二〇〇円のスペシャル定食が登場。カレー一五〇円が八〇円に、大盛カレー一八〇円が一〇〇円になっている。廃止と新メニューという形で値上げしている。しかし、いまから四〇年前となると、今昔の感がひとしおだ。それ以前は激しい値上げの時代なのだが、なぜか、「古典」的食堂時代の気がするというと、先輩方に怒られそうではある。

食堂では一言。正門前の竹茂食堂の綾部義浩さん（昭61）、スタミナ系の食事で学生に人気を得ていることを記しておきたい。（松）



生協食堂（昭和40年頃）

食堂の価格を次の通り改定します

献立名	現行価格(円)	構成比(%)	改定価格(円)	アップ額(円)	アップ率(%)	寄与率(%)
うどん・そば	120	3.1	140	20	16.7	0.52
ラーメン	190	—	190	0	—	—
スパゲティ	190	2.7	200	10	5.3	0.14
ライス	70	0.9	80	10	14.3	0.13
ライス大盛	90	1.4	100	10	11.1	0.16
カレーライス	140	7.1	150	10	7.1	0.50
カレーライス大盛	180	0.5	190	10	5.6	0.03
カツカレー	270	5.0	280	10	3.7	0.19
Aランチ	200	—	200	0	—	—
Bランチ	250	22.6	270	20	8.0	1.81
Cランチ	300	22.0	330	30	10.0	2.20
カツ丼	300	—	300	0	—	—
カルトC	260	2.6	280	20	7.7	0.20
カルトD	280	3.0	300	20	7.1	0.21
カルトE	300	2.8	330	30	10.0	0.28
カルトF	330	2.3	350	20	6.1	0.14
カルトG	350	2.7	380	30	8.6	0.23
サービスランチ	300	—	300	0	—	—
合計		80.6				6.98

食堂の価格を次の通り改定します

献立名	現行価格(円)	構成比(%)	改定価格(円)	アップ額(円)	アップ率(%)	寄与率(%)
うどん・そば	120	3.1	140	20	16.7	0.52
ラーメン	190	—	190	0	—	—
スパゲティ	190	2.7	200	10	5.3	0.14
ライス	70	0.9	80	10	14.3	0.13
ライス大盛	90	1.4	100	10	11.1	0.16
カレーライス	140	7.1	150	10	7.1	0.50
カレーライス大盛	180	0.5	190	10	5.6	0.03
カツカレー	270	5.0	280	10	3.7	0.19
Aランチ	200	—	200	0	—	—
Bランチ	250	22.6	270	20	8.0	1.81
Cランチ	300	22.0	330	30	10.0	2.20

生協食堂価格改定（昭和56年）



野外テラスで楽しいランチ（平成21年5月下旬）

では、現在のランチメニューを
いつの時代もそうだが、昼時、母校の生協食堂は賑わっている。おしゃべりと笑いの渦がテーブルに満ちている。現在、生協食堂は正門を入って左手奥に立つ 葵陵会館の一階にある。会館が一年半ほど前に改修されたのに合わせ、食堂も手直しされた。よりきれいで、より気持ちよく、その上、安く、おいしくて、メニューも豊富、が改修のポイントだった。改修ですっかり満足を得られたかどうか、データがないが、昼時の賑わいぶりひとつの答えを出している。いまや大学間競争、とくに私大の場合、学内食堂が大きなポイントになってきているようだ。きれいなゆつたりした食堂でないと志願者が来ないという。とくに女子のチェックは厳しいようで、オープンキャンパスで食堂の品定めに来校するというウソのようなほんとうの話もある。

見てみよう。ランチセット、三段階の値付けとなっていて、四一〇円、四五〇円、四八〇円。豚バラ塩カルビ炒め、ホイコーロー、ポークしょうが焼き、チキンカツ、クリームメンチカツ、ハンバーグ各種などおいしいそうなセットがずらり。丼ものがこれに加わる。三五〇円、三八〇円、四〇〇円、四四〇円と選択肢が豊富。唐揚げサラダご飯、ロコモコ丼、とろつとカツ丼とこれまた、食欲をそそる。もちろんご飯の量を選べる。ラーメンは三五〇円、カレーはMで二五〇円、Lで三五〇円。人気のカツカレーも用意されている。納豆、おひたし、コロッケ、中華



校外の街の食産業も二極分化しており、大学食堂より安いところもあるが、おおむね高い店がほとんどだ。まあ、昔から、大学食堂は学生「庶民」を味方につけないと経営がたかない。高くするとたちまち校外に「客」は逃げる。学生の経済目線を、生活目線つか



現在の生協食堂のメニュー
ずいぶん豊富になっている。

2022年度9月卒業式挙行、62名が新たな道へ

本学は2022年9月15日（木）、大倉喜八郎 進一層館（フォワードホール）で2022年度9月卒業式を行いました。今年度は学部生62名がそれぞれの新しい道へ進みました。

学位授与式では岡本英男学長より、学部代表として経営学部経営学科卒業の佐々木涼我さんへ学位記が授与されました。岡本英男学長は式辞で、いま地球規模で抱える諸問題に新しい答えを導くのは若者の特権であると述べ、また、菅原寛貴理事長の祝辞では、本学の前身・大倉商業学校の創立者である大倉喜八郎が大切にしていた「責任と信用」の言葉と、その根底をなす「自助・努力・誠意」の考えについて語り、これからも社会で活躍してほしいとメッセージを贈りました。



コロナ禍で続く学生の経済的困窮を打開【全国初】大学補助により大学食堂の全メニュー 30%値引き

本学は2022年9月13日（火）より、大学生協が提供する大学食堂の全メニューならびにお弁当に対し、大学が補助を行い、利用者は提供価格の30%引きの価格で利用できます。なお、これまで提供されていたメニューの実質的な値上げは行われていません。

新型コロナウイルスや戦争における世界経済の変動による値上げにより、学生生活も多大な影響を受け「食」に関しても費用を削減し生活を切り詰める傾向にあります。そこで、学生の「食」に対し直接的な経済的支援を行い心身の健康を保ち生活の質の向上につなげ、健全な学生生活を送ることができると考え本制度を整えました。

本取り組みはNHKの首都圏ネットワーク・ニュース7、TBSテレビNスタ・News23、東京新聞、毎日新聞、読売新聞等で報じられるなど、大きな反響がありました。

第123回葵祭 3年ぶりに対面形式で開催

2022年10月28日（金）～30日（日）の3日間、国分寺キャンパスにて大学祭「葵祭」を開催しました。第123回となる今回は3年ぶりに対面形式で行

われ、10月28日の前夜祭は約230人が、本祭（10月29日～10月30日）は約3,940人が参加し、構内は賑わいを見せました。今年度のキャッチフレーズは「葵想天外」で、葵祭実行委員会によると、新型コロナウイルスの収束がみえない現状でも東経大生らしく誇りを持ち、个性的でかつ普通には思いつかないような大学祭にしたいという思いを込めたそうです。

屋内では、サークルやゼミ団体が作品展示などで日頃の活動成果を公開しました。また屋外には焼きそばや大学芋などの飲食を中心とした屋台が並び、来場者らと呼ばび込んだり、楽しそうに調理したりする学生の姿が見られ、活気にあふれました。5号館前に作られたメインステージでは、豪華賞品が当たるビンゴ企画や新次郎池親善大使を決める公開オーディションなどが行われ、盛り上がりを見せました。



鈴木恒雄ゼミが第8回立川南口街ゼミのイベントで「大学生と作るペーパークラフト体験！」を開催

立川南口の商店街では2022年11月1日（火）～11月23日（水）の間、「プロが教える商人カルチャー 第8回立川南口街ゼミ」が開催され、大学生代表として、経済学部の鈴木恒雄ゼミが参加しました。

鈴木ゼミは、11月6日（日）に立川市子ども未来センターで「大学生と作るペーパークラフト体験！」を実施し、参加した子どもたちとそれぞれの作品を作り上げました。

大倉記念学芸振興会 学術講演会「日本の地名にちなんだ初の地質年代『チバニアン』の誕生」を開催

大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会（略称：大倉記念学芸振興会）は2022年11月5日（土）、国分寺キャンパス2号館B301教室にて学術講演会を開催しました。

今回は茨城大学理学部長で日本地質学会の会長も務める岡田誠教授を講師にお招きし、「日本の地名にちなんだ初の地質年代『チバニアン』の誕生」をテーマに、「千葉セクション」がGSSP: Global Boundary Stratotype Section and Point（国際境界模式層断面とポイント）に認定され「チバニアン」

コミュニケーション学部の小山ゼミが 国際ビジネスの研究大会にて 「日本語論文最優秀賞」を受賞

2023年12月2日（土）に、東北大学で開催された「第13回国際ビジネス研究インターカレッジ大会（IB インカレ）」に、コミュニケーション学部の小山健太ゼミの2チームが出場しました。両チームとも高い論文点を得ましたが、大会当日のプレゼンテーション審査の結果、「大学生の留学経験がCQに与える効果」を研究したチームが「日本語論文最優秀賞」を受賞しました。

IB インカレは、学部ゼミにおける研究成果を学術論文形式で発表し、チーム対抗で優勝を目指す研究報告の全国大会です。今大会では、全国16大学19ゼミ29チームが出場しました。小山ゼミからは3年生の2チームが出場して、それぞれ「大学生の留学経験がCQに与える効果」「ワーキング・ファザーへの上司支援：世界で進む女性の社会進出のために」と題した研究論文を事前に提出の後、大会当日にプレゼンテーションを行いました。

ゼミを指導する小山健太准教授は「小山ゼミでは“国際的な環境で働く人の心理を研究する”をテーマに、実社会に役立つ水準の高い研究を目指しています。自分たちの研究成果を発表して、他大学のゼミ生と学び合ってほしいという思いから、IB インカレに出場しています。今回、小山ゼミとして初めて日本語論文最優秀賞を受賞できたことで、出場した3年生のみならず後輩たちも、ゼミで日ごろ取り組んでいる研究活動の水準の高さに自信を持てたと思います」と話しています。



プログラムで培った語学力を発揮 グローバルキャリアプログラム参加者が 成果発表

2023年度グローバルキャリアプログラムの研修成果発表会を、オーストラリアコースは2024年1月23日（火）に、中国コースは2024年1月30日（火）にそれぞれを行いました。グローバルキャリアプログラムは、異文化コミュニケーション力を養うことを目的に、約5か月間の語学研修と海外でのインターシップ、加えて大学での事前事後研修から成り立つ選抜制プログラムです。

当日は、研修に参加した学生が、各々が研究してきた話題について英語や中国語でプレゼンテーションを行いました。聴衆からプレゼンに対し英語で質問され、それに対しプレゼンターが英語で回答するという全て英語で進行する場面もみられました。最優秀賞には星耀子さん（経営2年）の「People's Attitude towards Food Waste」（オーストラリアコース）と、佐藤圭悟さん（経済3年）の「中国ユニクロ価格の決定要因」（中国コース）が選ばれま

した。
※学年は取材当時



経営学部北村真琴ゼミが最優秀賞、 小木紀親ゼミが優秀賞受賞 知財活用スチューデントアワード 2023

経営学部の北村真琴ゼミと同学部小木紀親ゼミは、2023年12月11日（月）、西武信用金庫が主催する「2023年度知財活動スチューデントアワード」にて、北村ゼミが最優秀賞を、小木ゼミが優秀賞を受賞しました。知財活用スチューデントアワードは、大手企業等の開放特許を活用しこれまでの市場にない斬新な商品アイデアを学生たちが創出し、中小企業に提供し商品化を図ることを目的とした産学連携の取組みです。

最優秀賞を受賞した北村ゼミの「チームろくまるご」は、富士通の「スマートクリップ技術」による自家用車内の乳児置き去りを防ぐ装置の提案を行い、シンプルで実現の可能性があるアイデアで社会問題の解決を目指しているとして審査員から非常に高い評価を受けました。



46年物のソファをリメイク 学生向け新ラウンジが葵陵会館に誕生

2024年1月26日（金）、本学国分寺キャンパスの葵陵会館内PCコーナーが、学生のためのラウンジに生まれ変わりました。BYOD（Bring Your Own Device）が進み常設のPCが撤収されることに伴い、電源設備とWi-Fiを備えた学生の居場所を増やすとともに大学食堂の混雑緩和を目的としたラウンジが設置されました。

ラウンジで使用されているソファは、本学が昭和

53年（1978年）に購入したものを座面と背面を貼り替えてリメイクしたもので、ラウンジへの改装は専門業者を入れることなく学内の職員が協力して作り上げました。PCコーナーで使用していたテーブルは、大学食堂の「スタンディングスピードシート」にリユースされ、SDGsの視点からも無駄なく活用しています。



学生から感謝の声続々 教職員有志団体が 生理用品無料配付会を実施

本学教職員の有志団体「学生支援プロジェクト」を中心に行われている取り組みの一環として、2024年1月25日（木）と26日（金）の昼休みに生理用品無料配付会を実施しました。この配付会は昨年5月に続き4度目の実施となり、本学教職員によるカンパ152,375円から生理用品192セットが用意されました。

配付された紙袋には、前回実施時のアンケートでも好評だった大きめの生理用品2袋（約800円相当）が入っており、学生からは「想像していたより多く入っていて嬉しい」との声が寄せられました。配付会を運営する女性職員は「配付用の生理用品を注文したところ、前回実施した時よりも値上がりしており、女子学生の経済的な負担が増えていると感じた。今後も引き続き実施したい」と話しました。

「水俣を知ってほしい」 アイリーン・ スミス氏が参加者と熱く語り合う～ 「『水俣』を語ろう」を開催

東京経済大学SDGs推進委員会は2023年12月6日（水）、学術講演会「『水俣』を語ろうーアイリーン・スミスさんをお招きしてー」を開催しました。

今回の学術講演会は水俣病への理解を深めること、環境意識を高めることを目的とし、第1部では映画『MINAMATA』を上映しました。第2部は『MINAMATA』の主人公の一人として描かれてい

るアイリーン・スミス氏をお招きし、講演が行われました。

第2部では講演のほか、アイリーン氏と本学現代法学部の野澤淳史専任講師と参加者による対話も行われました。市民の方々や学生から積極的に挙手があり、「水俣病をいかに若い世代に伝えるか」について等、意見が熱く交わされました。アイリーン氏は講演の中で「水俣病は終わったことではなく、現在進行形で起こっていること。若い世代の方にも知ってもらい、日本から世界に向けた“語り部”になってほしい」と述べました。

※職位は取材当時



高校生のためのライブ講義 「東経大ライブ」2024年度も配信スタート

本学では、高校生の進路選択において、学部名だけでは中身が見えず興味・関心と学問とのつながりが分かりにくい状況を踏まえ、2023年3月から高校生のためのライブ講義「東経大ライブ」を配信しています。身近な疑問を学問的な視点から考えることで、より深く理解し実践に繋げる「考え抜く実学」を体験できる場として、各回約30分のショート講義シリーズをYouTubeライブ配信にて展開。社会科学のさまざまな学問の学びの深さを知ること、大学探しや学部選びのヒントとして活用してもらうことを目的としています。また、講義終了後に質問コーナーを設けることで、ライブ配信の特性を生かした双方向の講義を実現しています。

これまでに配信した全21講義は、全国の高校生から視聴がありアーカイブ配信でも多くの方にご覧いただくとともに、高校における進路指導の場としても活用していただいております。今回、講義内容を新たに全10講義を、4月から順次配信します。なお、これまでに配信した講義は、アーカイブ配信にてお楽しみいただくことができます。

<https://www.tku.ac.jp/tku-live/>



大倉記念学芸振興会 会員募集中

本学は生涯学習推進という時代の要請に応え、2002年4月に「大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会」を発足させました。これまで著名な学者による学術講演、有力芸術家や有望新人芸術家による芸術公演などを企画・開催しております。

会員特典として、年1回の理事長・学長との懇談会や美術館の無料利用などをご用意しております。葵友会の皆さまにおかれましても、本会へのご支援を賜りたく、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

資料のご請求：東京経済大学広報課

メール：pr@s.tku.ac.jp

電話：042-328-7900

大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会 サイト

<https://www.tku.ac.jp/okuragakugei/index.html>



において、前回大会で男子総合優勝をした日本大学艇に約2秒差をつけて優勝し、男子クルーとしては2003年の男子舵手付きフォア以来22年ぶりの優勝の快挙を果たしたほか、1、2年生メンバーで臨んだ男子クオドルプルが5位、男子ダブルスカルが8位と、3種目で入賞しました。

創立125周年、「語り会おう。東京経済大学で」をキャッチコピーに

1900年に大倉商業学校として赤坂葵町（現在の東京都港区虎ノ門）で、その歴史刻み始めた東京経済大学は、10月23日（木）に創立125周年を迎えました。

これを記念して、10月20日（月）から11月2日（日）までの間、JR国分寺駅改札付近に大きなフラッグを掲出したほか、10月20日（月）には、大学公式ウェブサイトのメインビジュアル部分の更新を行いました。

国分寺キャンパスの秋を彩る 第126回葵祭が開催 ～「舞い上がれ、葵」

葵祭実行委員会は、10月31日（金）から11月2日（日）の間、大学祭である「葵祭（あおいさい）」を開催しました。葵祭は、本学の前身大倉商業学校が都心の赤坂葵町で開校したことが名前の由来となっています。

126回目の開催となる今回は、10月31日に前夜祭、11月1日と2日に本祭が行われました。今回のキャッチコピーは「舞い上がれ、葵」。一昨年のキャッチコピーである「葵、振り返り」で振り返った葵が、昨年の「咲き誇る、葵」で満開になり、その満開になった葵が風に吹かれ舞い上がり、さらに華やかな葵祭になるようにという願いが込められています。

新葵陵会館（仮称）の名称が、 「葵テラス」に決定！

建設が進められている新たな建物（仮称：新葵陵会館）の名称が、卒業生、学生・教職員から公募の結果、『葵テラス』に決定しました。

7月22日（火）から9月30日（火）にかけて名

称を募集し、応募総数107点の中から、新葵陵会館（仮称）名称選考委員会が選考を行い、決定しました。

大倉記念学芸振興会 芸術公演 「友納あけみコンサート～忘れじの歌～ シャンソンから昭和ソングまで～」を開催

大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会は、10月25日（土）に国分寺キャンパス大倉喜八郎進一層館（フォワードホール）で芸術公演「友納あけみコンサート～忘れじの歌～シャンソンから昭和ソングまで～」を開催しました。

大倉記念学芸振興会では、ご支援いただける会員を募集しています。詳しくは本誌表紙裏の案内をご確認ください。



陸上競技部OBの山田真樹選手、 東京デフリンピックで3個のメダル獲得！

陸上競技部OBで、東京デフリンピックに出場した山田真樹さん（令2）は、陸上男子400mで金、200mで銀、4×400mリレーで金メダルを獲得しました。

次期学長に小川 英治 経済学部教授を選出

岡本 英男 現学長が、2026年3月で任期満了となるのに伴い、11月20日（木）、理事会を開催し、小川 英治 経済学部教授を次期学長とすることを正式に決定しました。

新学長の任期は2026年4月1日から2030年3月31日までの4年間です。

